

特集 学校と家庭のはざまで

貧困や閉塞感などさまざまな社会の実態の中で、孤立し翻弄される子どもたち。「子どもの人権」も保障されないうまま、今年はさらにコロナ禍が重くのしかかっている。

本誌では二〇一七年一一・一二月号で「子どもたちはどこへ」を特集し、子どもの居場所を探ってみた。おもに不登校の子どもたちに焦点を当てた試みだった。

今回はその放課後編ともいえる。

放課後の時間帯、学校にも家庭にも安住できない子どもたちはどこで何をして過ごしているのだろう。さまざまに模索する子どもたちの姿を追ってみたい。

